

3月市議会情報

沼田市議会議員の報酬を引き続きカット

沼田市議会は、3月議会最終日の19日、3年前の改選時から続けている毎月の報酬カットを、引き続き来年3月まで行うことを全会一致で、議決しました。カット率は、議長10%、副議長8%、議員5%です。

3月議会における請願・意見書の審査状況

すでにお知らせしたように、開会当初に「豪雪被害から生活再建及び早期復旧に関する意見書」を総理大臣等に提出しましたが、群馬県脳脊髄液減少症患者会(代表 小野寺都志子)から提出された「脳脊髄液減少症の診断及び治療等に関する請願書」は、付託された民生福祉常任委員会で審査され、全会一致で採択し、意見書提出を決定し、19日の本会議で全会一致で議決され、総理大臣等に意見書を提出しました。

また、経済建設常任委員会から議員提案された、「協同労働の協同組合法(仮称)」の速やかなる制定を求める意見書案も19日の本会議で全会一致議決し、総理大臣等に意見書を提出しました。

武道館建設を求める請願を全会一致で採択

群馬県柔道連盟利根沼田支部(阿部学支部長)及び群馬県剣道連盟利根沼田支部(加藤三男支部長)から共同提出された「武道館建設を求める請願書」は、「現在使用している武徳殿と沼田小学校記念講堂は、正規の試合場が取れないほど狭いうえ、昭和30年代建設で老朽化し、大変危険な状況であり、武道館建設の計画を示してほしい」というもので、付託された総務文教常任委員会で採択され、19日の本会議で全会一致で議決されました。

沼田市長選情報

日本共産党沼田市委員会が提出した公開質問状の返信が2人の予定候補から届く

沼田市長選に向けて3人の予定候補にお願いした「公開質問状」は、2人の方から返信が届いています。もう1人の方から届き次第、市民のみなさんに公開させていただきます。もうしばらくお待ちください。

安心して子供が産める利根沼田を!

「利根沼田のお産を守る会」を結成



河合蘭氏の記念講演

利根中央病院の産婦人科が医師不足のため助産所になるという状況が伝えられ、このままでは、久保産婦人科だけになってしまい、もしもの時には、前橋方面の病院まで緊急搬送されざるを得ないということになります。

このままでは利根沼田で安心して子供を産むことができないと、お母さんたちや助産師さんたちが立ち上がり、3月30日、利根文化会館において「利根沼田のお産を守る会」の結成総会を開催し、会長に国府田坦こうだ医院院長、副会長に久保郁弥久保産婦人科院長を選出しました。事務局は「沼田子育てネット」が担当します。

総会では、「全国的な医師不足や医師偏在の現状、同じような状況の他地域での先進的な取り組み事例などをみんなで学習したり、交流を深めたりしながら、安心して子どもが産める利根沼田を目指しましょう。」というアピールを採択しました。また、「少子化時代の安心、安全なお産」と題して、出産ジャーナリストの河合蘭氏が、記念講演(写真)を行いました。

たった4人の卒園式・多那保育園

3月26日に市内の各保育園で平成25年度の卒園式が挙行されました。多那保育園では、男の子3人、女の子1人の計4人の卒園式でした。今年は少ないが来年は倍ぐらいになるとのこと。多那小学校の新入児童は、この保育園の卒園児を含めて、6人になるようですが、利根町の小学校の中で多那小の児童数が一番多いとのことです。



2014年4月6日 696

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料